

## ★ 地域防災訓練プロセス ★

今まで行ってきた避難訓練では、いざという時に定められた防災計画が機能しない場合があります。実際に災害が発生した事を想定し、時には負傷者を設定したり、実際にある機材で消火したり、実践的な訓練が重要です。

アサップは、様々な災害やシチュエーションを想定したロールプレイング方式の防災訓練計画をご提案いたします。

### <従来の防災訓練>

- ・ 決まった場所に集まって、みんなで避難場所まで移動 → 避難場所の確認
- ・ 消火器を使った消火訓練 → もし、消火器が無かったら・・・
- ・ いつ災害が発生したのか？ → 通常は昼間発生を想定。夜間だったら・・・

でも・・・

災害時を想定した訓練は、いつ・どのような災害が・どの程度の規模で発生したか想定し、その状況にあった訓練内容を決めることが重要です。その中で、時間帯や状況が異なった場合を想定した話し合い＝ロールプレイングが防災力向上のための大きな力になります。

こんな訓練はいかがでしょうか？

### <具体的な災害発生日時を想定した防災シミュレーション>

- 発生日時:平成××年8月13日 12:00
- 災害の規模:新潟県妙高市栄町を震源とする震度7強の大地震が発生
- その時の状況:
  - ・ 震源地付近の市役所庁舎は使用不能・職員に対する連絡も取れない。
  - ・ お盆休み中で事業所等には、比較的従業員が少ない。
  - ・ 北国街道沿いの住宅密集地域では、家屋の倒壊が発生。

→ こんな時、市民は・行政は何をすれば良いのでしょうか？  
また、何が出来るのでしょうか？